

**JASDAQ**

平成 30 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社 ストライダーズ
代表者名 代表取締役会長 早川 良一
(JASDAQ・コード9816)
問合せ先 常務取締役兼CFO 若原 義之
電 話 03-5777-1891

業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成 29 年 5 月 12 日に公表いたしました、平成 30 年 3 月期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の通期連結業績予想と平成 30 年 5 月 14 日公表の実績値との間に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 差異の内容

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想と実績値との差異(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 6,700	百万円 310	百万円 310	百万円 200	円 銭 22.51
実績値 (B)	7,971	208	179	122	13.73
増減額 (B-A)	1,271	△102	△131	△78	—
増減率 (%)	19.0	△32.9	△42.3	△39.0	—
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 3 月期)	6,366	279	293	229	25.83

(注) 当社は、平成 29 年 10 月 1 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該併合が行われたと仮定して、「1 株当たり当期純利益」を算定しております。

2. 差異の理由

売上高の主な増加要因は不動産事業における賃貸管理戸数の増加、ワンルームマンションの売買件数の増加によるものであり、営業利益の主な減少要因はホテル事業における大型設備更新による休館の影響、経常利益の減少は上記に加え、台湾での持分法適用関連会社の清算に伴う投資損失の発生が影響し、親会社株主に帰属する当期純利益の減少はスリランカにおける投資事案の一部を減損処理した影響が加わっております。

以 上